

(臨床研究に関するお知らせ)

紀南病院で大腸癌と診断された患者さんへ

紀南病院消化器科では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご案内するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、当院倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われた方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

大腸癌に対する腹部超音波検査、腹部CT検査の感度に影響する因子の検討

2. 研究責任者

紀南病院 (職名) 消化器科医師 (氏名) 山西 浩文

3. 研究の目的

大腸癌は、日常診療において頻繁に遭遇する疾患であり、増加傾向です。大腸内視鏡検査は大腸癌の診断において標準的な検査法ですが、大腸内視鏡検査は一部の患者さんには不快で侵襲的な検査法です。腹部超音波検査およびCT検査は、腹部疾患の診断において簡便で比較的侵襲的な検査です。しかし、大腸癌に対する腹部超音波検査およびCT検査の有用性は明らかになっていません。本研究では大腸癌診断における腹部超音波検査とCT検査の有用性及び、感度に影響を因子について検討することを目的とし、当院で大腸癌と診断された患者さんを対象に、臨床研究をおこなっています。

4. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

2013年4月1日から2017年3月31日までの期間中に、紀南病院で大腸癌と診断された患者

(2) 利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くデータは、年齢、性別、身長、体重、症状、TNN stage、内臓脂肪量、内臓脂肪断面積、腫瘍の大きさ、腫瘍の形態、腫瘍の場所、腫瘍の深達度、腫瘍のエコー、CT、内視鏡所見、血液検査結果(白血球数、Hb、CRP、血清アルブミン値、CEA、CA19-9、HbA1c)です。

(3) 方法

過去のカルテ情報の利用

5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させて頂きます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

7. 問い合わせ先

紀南病院消化器科 担当医師 山西浩文

TEL : 0739-22-5000 FAX : 0739-26-0925

E-mail : hyamanishi@kinan-hp.tanabe.wakayama.jp